

婦中町埋蔵文化財報告 第6冊

富山県婦中町

富崎・千里地区  
埋蔵文化財予備調査概要

1986.3

婦中町教育委員会

## 例　　言

1. 本書は公社営畜基地建設事業に係る遺跡の予備調査概要である。
2. 調査は国庫及び県費補助金の交付を得て、婦中町教育委員会が実施した。調査にあたっては、富山県埋蔵文化財センターの指導と協力を得た。
3. 調査事務局は婦中町教育委員会に置き、社会教育係長大上正弘、社会教育主事田上浩幸が調査事務を担当し、教育次長角間甚二が総括した。
4. 調査は、富山埋蔵文化財センター職員の協力を得て、田上が担当した。
5. 本書の編集・執筆は、田上が行った。

## 目　　次

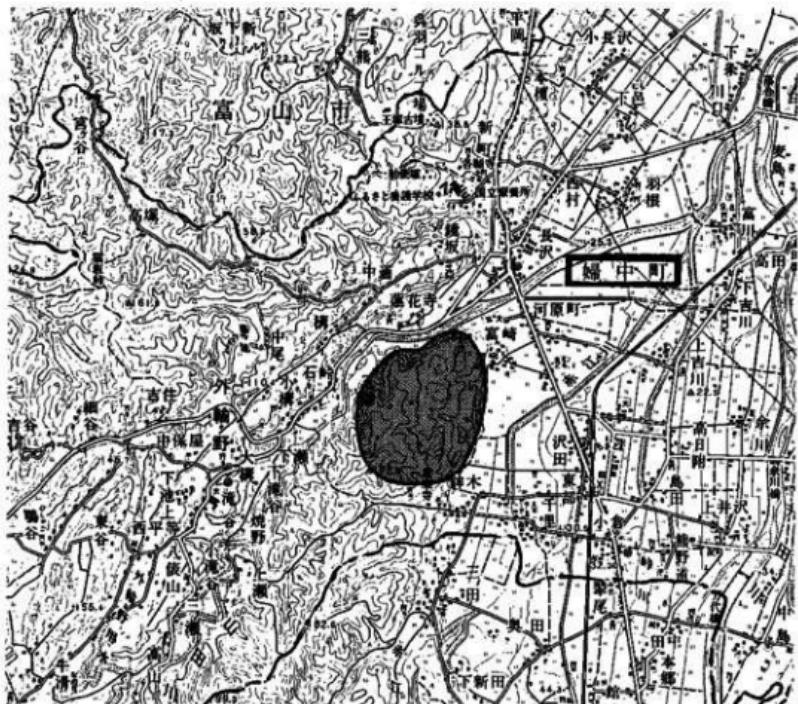
序	
例　　言	
I　　遺跡の位置と環境	1
第1図　位置と周辺の地形	1
II　　調査の経緯	2
表1　　遺跡一覧	2
第2図　富崎・千里地区内遺跡	3
III　　調査の概要	4
第3図　調査区	4
第4図　古墳位置図	5
III　　まとめ	6
引用・参考文献	
写真図版	
(付図) 古墳測量図	

## I 遺跡の位置と環境

婦中町は富山県のはば中央に位置し、地形的には平野部と丘陵部に大きく2分できる。平野部は、井手川・神通川によって形成された扇状地で町東部を占める。丘陵地は、呉羽丘陵から牛岳へと連なる丘陵で町西部を占める。

今回の調査の対象となったのは、婦中町富崎・千里地内の丘陵で、中世のころ神保氏が居城した富崎城跡があることでよく知られている。この丘陵の西には富山平野が広がり、遠くには立山連峰が一望できる。丘陵の東側に沿って山田川が北流し、それをへだてて吳羽・射水丘陵が連なる。

この山田川を狭む左右の丘陵上には、先土器時代より中世にいたるまでの数多くの遺跡が存在している。なかでも中世の城館跡が多数知られており当時は、富山平野から砺波平野へぬける交通上・戦略上の要所であったと考えられる。



第1図 位置と周辺の地形 (1/50,000)

## II 調査の経緯

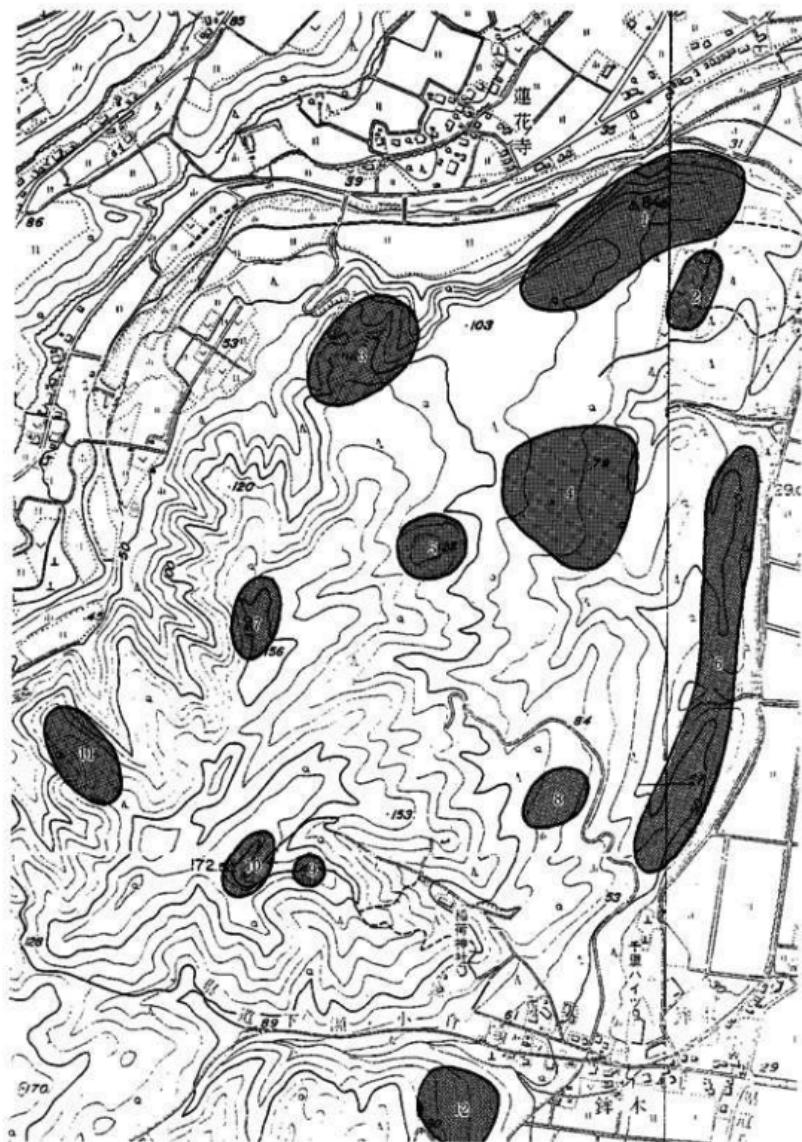
昭和58年度に県営草地開発基本事業の候補地として富崎・千里地区がその一つに上げられた。事業候補地内には、富崎城跡・ゴダイ塚などの周知の遺跡を含めほかにも多くの遺跡の存在が予想されたので、昭和59年4月に富山県埋蔵文化財センターと婦中町教育委員会で事業候補地内の分布調査を実施した。分布調査の結果、城跡や20基以上の古墳など多くの遺跡が確認された。

昭和59年度富崎・千里地区が事業地に決まり、事業主体である県畜産課と町教育委員会・富山県埋蔵文化財センターとの間で遺跡の保護措置を講ずるため事前協議を行った。協議の結果、事業は昭和61年度から実施するとの計画であったため、昭和60年度に遺跡の正確な範囲や性格を確認するため試掘調査を実施することにした。

当初は事業地内全域を試掘調査する予定であったが、事業に対して地権者数名の反対があり、文化財の調査に対しても理解が得られなかつたため、地権者の同意を得られた千里地区だけを対象に試掘調査と古墳の測量調査を行った。

No	遺跡名	種別	現状	採集遺物	備考
1	富崎城跡	城跡	山林		焼米出土の伝えあり
2	富崎野畠遺跡	散布地	畑地	縄文土器・石器	
3	下瀬離山遺跡	城跡 集落跡	山林	古式土師器	大半が土取りのため破壊されているが土取後の地層断面に住居址の痕跡が見える。空堀あり
4	富崎南野遺跡	散布地	畑地	縄文土器・須恵器	
5	富崎赤坂遺跡	城跡?	山林		削り出しによるテラスあり
6	富崎千里古墳群	古墳	山林		20基以上の大古墳群
7	下瀬向山遺跡	城跡	山林		削り出しによるテラスあり
8	千里片坂遺跡	城跡	山林		山そそぎを削り出したテラスあり
9	ゴダイ塚	塚	神社		珠洲出土の伝えあり(町史)
10	森田山城跡	城跡	山林		空堀あり
11	下瀬城跡	城跡	山林		空堀あり
12	大館城跡	城跡	山林		空堀あり

第1表 遺跡一覧



第2図 富崎・千里地区遺跡 (1/5,000)

### III 調査の概要

今回の調査は、千里片坂遺跡と富崎・千里古墳群千里支群で行った。千里片坂遺跡では試掘調査を行い、古墳群は測量調査を行った。

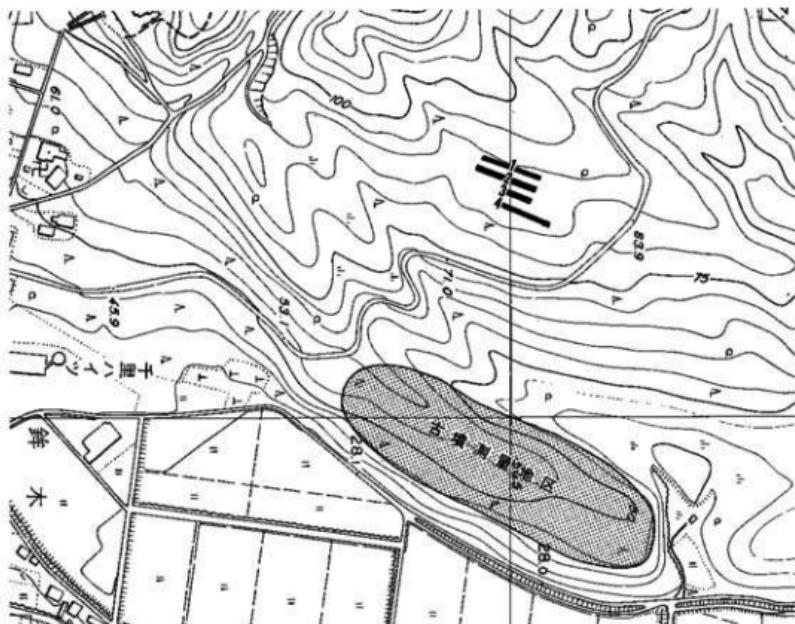
#### 千里片坂遺跡

山裾を削平したテラス状の遺構が存在し、城跡に関連するものではないかと考えられたので幅2m、長さ20~50mのトレンチを4本入れた。幅20cm~30cm程度の穴が数個確認されたが覆土が新しく不整形で柱穴にはならない。遺物の出土もなかった。

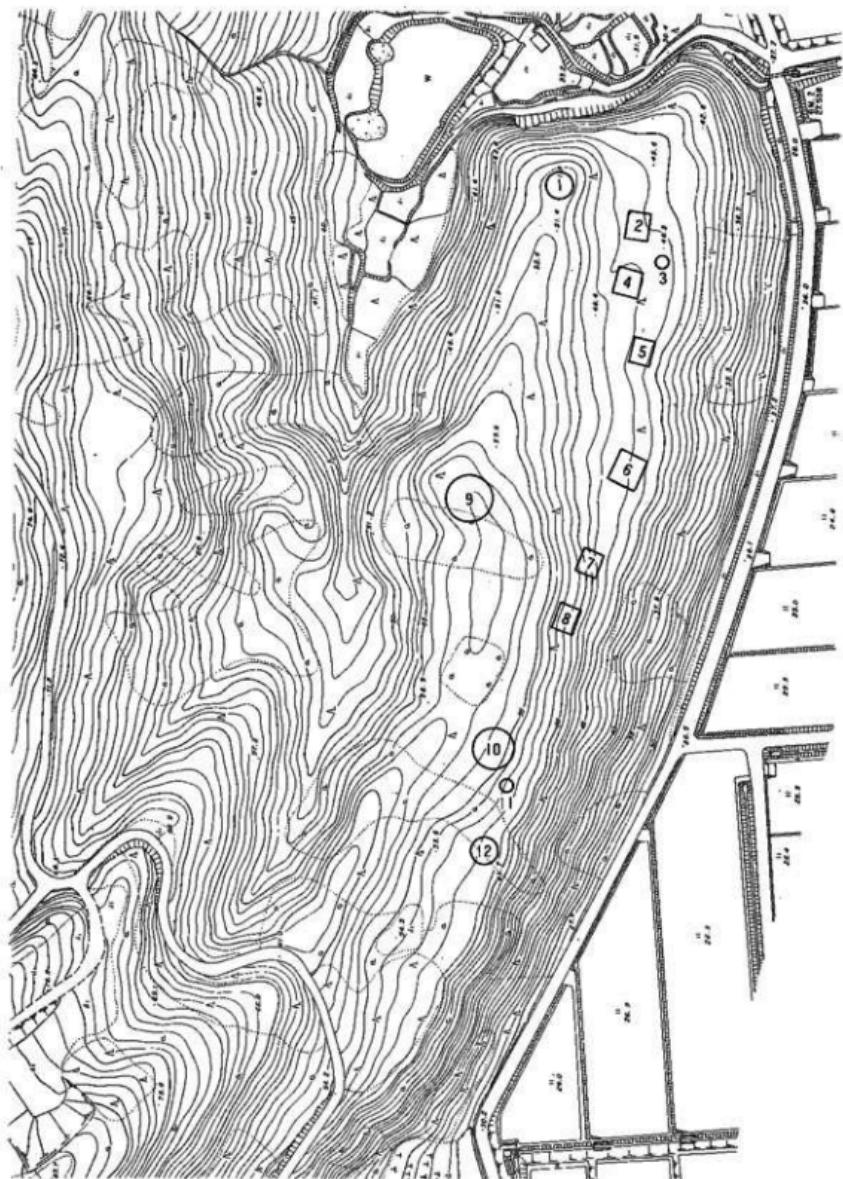
地元の古老の話によると調査地は以前畠地であったらしく、テラス状の遺構は城跡に関連するものではなく畠地にするため山裾を削りとった跡ではないかと考えられる。

#### 富崎・千里古墳群千里支群

千里支群は12基の古墳群により構成されており、その正確な位置、大きさを確認するため測量調査を行った。古墳は径約8m~20m、高さは約0.6m~3mのものがあった。遺物は採集されなかった。



第3図 調査区 (1/5,000)

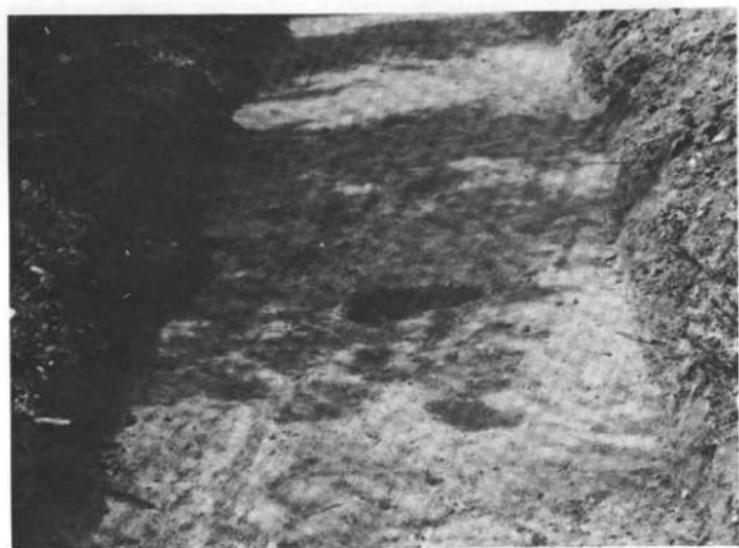


第4図 古墳位置図 (1/2,000)

(図版1) 第1トレンチ



(図版2) 穴



(圖版3) 古壙群測量作業風景



婦中町埋蔵文化財調査報告第6番  
富山県婦中町  
富崎・千里地区 埋蔵文化財予備調査概要

発行日 1986年3月31日  
編集者 婦中町教育委員会  
発行者 婦中町教育委員会  
富山県婦負郡婦中町速星754  
TEL (0764) 65-2111  
印刷者 日成印刷工業所